

◎中国経済の回復に伴い、鉄鉱石価格が高騰

中国では、来週 18 日に 2011 年の GDP が発表される予定だが、2011 年第 4 四半期の実質成長率は 7.7%と第 3 四半期 (7.4%) より高くなったと見られ、昨年第 3 四半期を底に景気が底打ちしたことを統計面でも確認することになりそうだ。

今や世界最大の工業国となった中国の景気が底打ちしたことで、国際商品市況にも大きな影響が出てきている。9 月にはトン当たり 90 ドルを割るところまで急落していた鉄鉱石のスポット価格は、1 月 8 日、トン当たり 160 ドル近くにまで急騰し、2013 年に入ってわずか 2 週間目にして 2012 年の通年高値を抜き、15 か月ぶりの高値水準となった。中国は 7 億トンと我が国の 7 倍、世界全体の粗鋼生産の約半分を占める鉄鋼生産大国であり、中国の生産急増に伴い鉄鉱石の価格は過去 10 年間で 10 倍に高騰したことになる。

BREAKING NEWS
Activist Investor Dan Loeb Takes 8% Stake in Herbalife (See Story)

## Improving Chinese Steel Demand Sends Iron Ore Prices Soaring to 15-Month Highs

The Paragon Report Provides Stock Research on Cliffs Natural Resources and Rio Tinto

MARKETWIRE Press Release: Paragon Report – Tue, Jan 8, 2013 8:20 AM EST

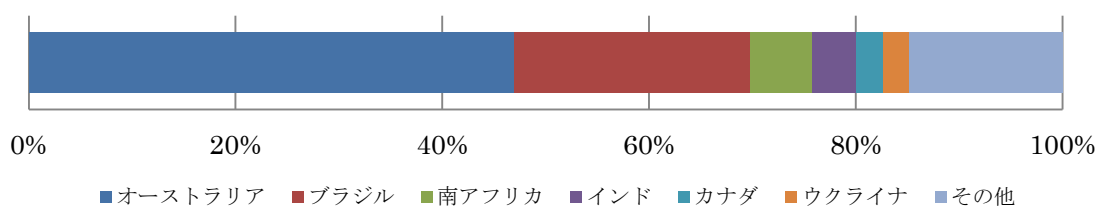
Email
Recommend <0
Tweet <0
Share
+1
Print

**RELATED QUOTES**

Symbol	Price	Change
CLF	37.63	-0.39

NEW YORK, NY--(Marketwire - Jan 8, 2013) - The Iron Ore Industry has had a strong start to the new year as rising steel demand in China have sent prices for the commodity soaring to a 15-month high. Prices for iron-ore have rallied 75 percent from the lows seen in September. The Paragon Report examines investing opportunities in the Iron Ore Industry and provides equity research on Cliffs Natural Resources Inc. ( NYSE : CLF ) and Rio Tinto plc ( NYSE : RIO ).

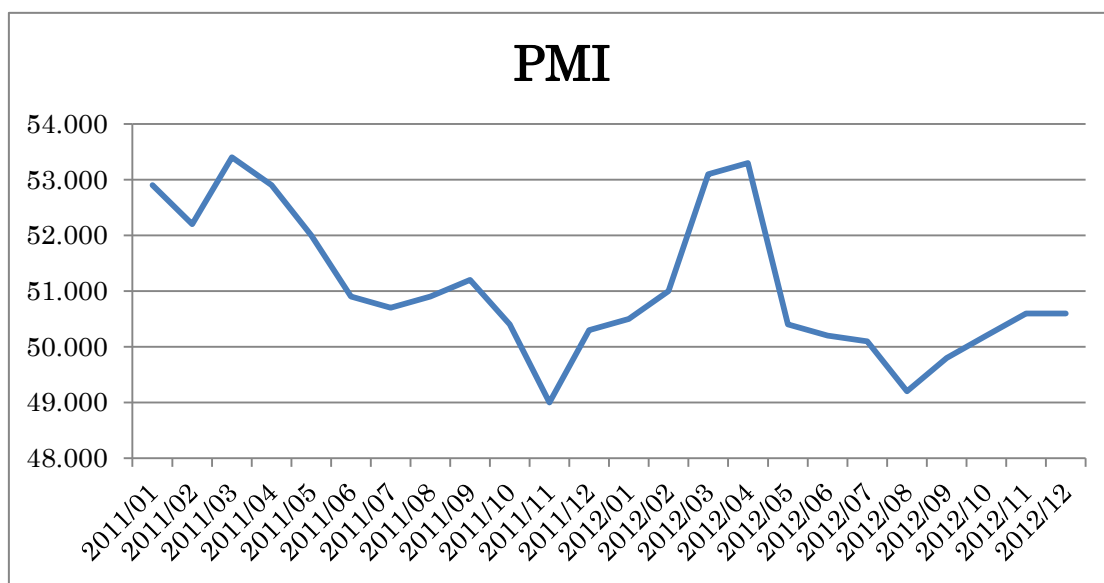
### 中国の鉄鉱石輸入先



以下に、最近の中国における景気回復を裏付けるデータをいくつか掲載しておきたい。

- 12月のPMI指数は3か月連続して50を上回った。

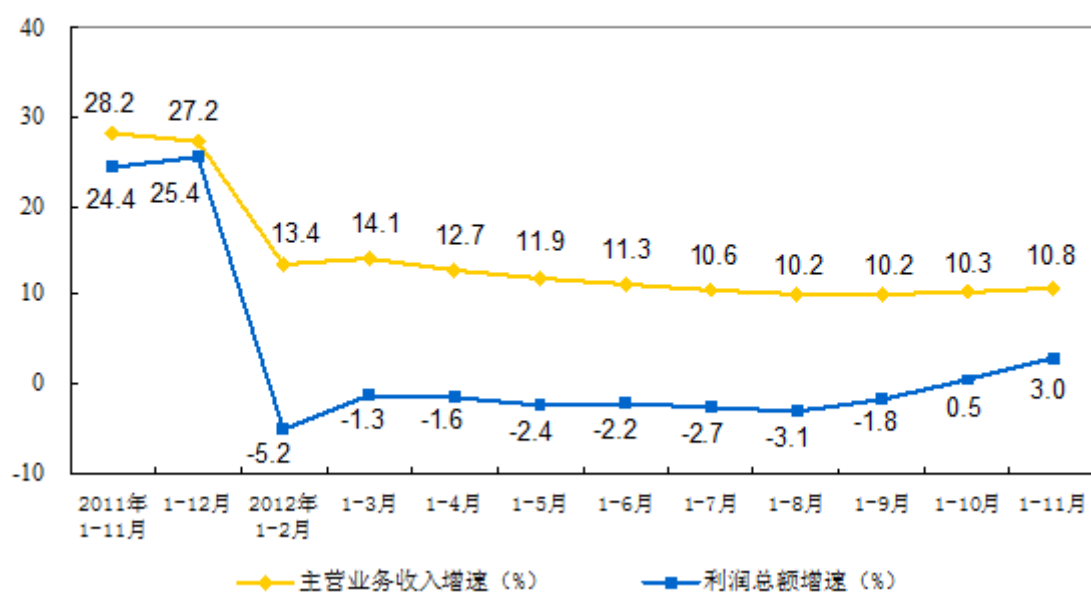
1月1日に発表された12月のPMI指数は50.6と、前月と同じながら、3か月連続して好不況の境目とされる50を上回っている。



- 大規模製造業企業の実現利益額が前年同期比プラスに転じた。

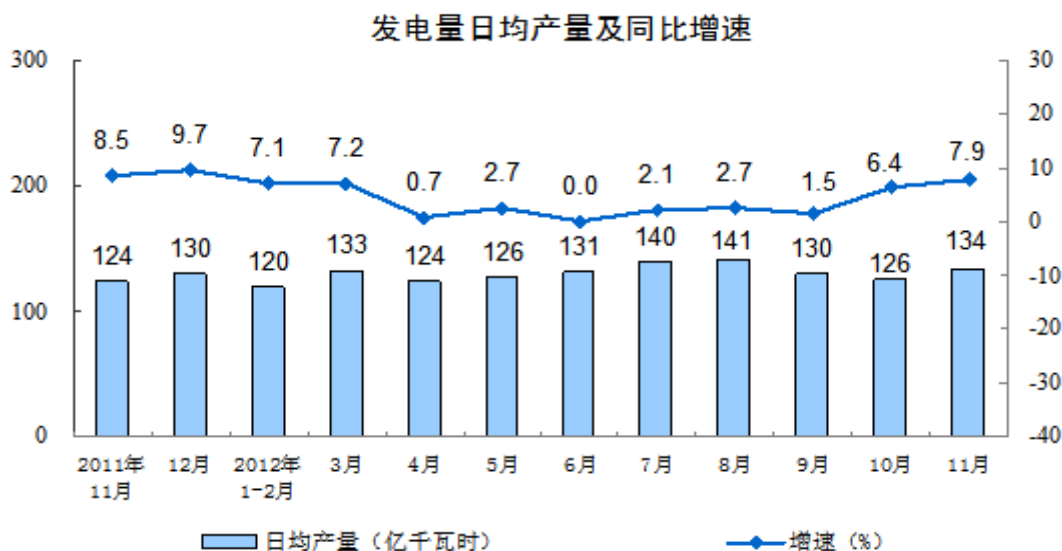
12月27日に発表された大規模製造業企業の1-11月累積実現利益額は前年同期比3%増と2か月連続して前年同期比プラスとなった。11月単月の利益額は前年同期比22.8%という大幅増となった。

各月累計主营业务收入与利润总额同比增速



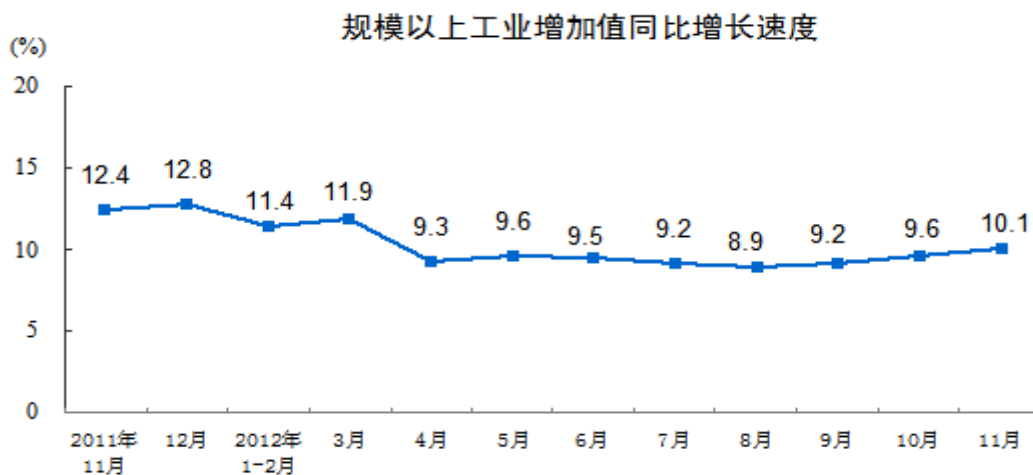
一 発電量が増加傾向を取り戻した。

12月9日に発表された11月の発電量は7.9%増と10月に続いて高い伸びとなった。



一 鉱工業生産は10%をこえる伸びを回復した。

同じく9日に発表された11月の鉱工業生産指数は10.1%増と昨年3月以来の2ケタ増となった。

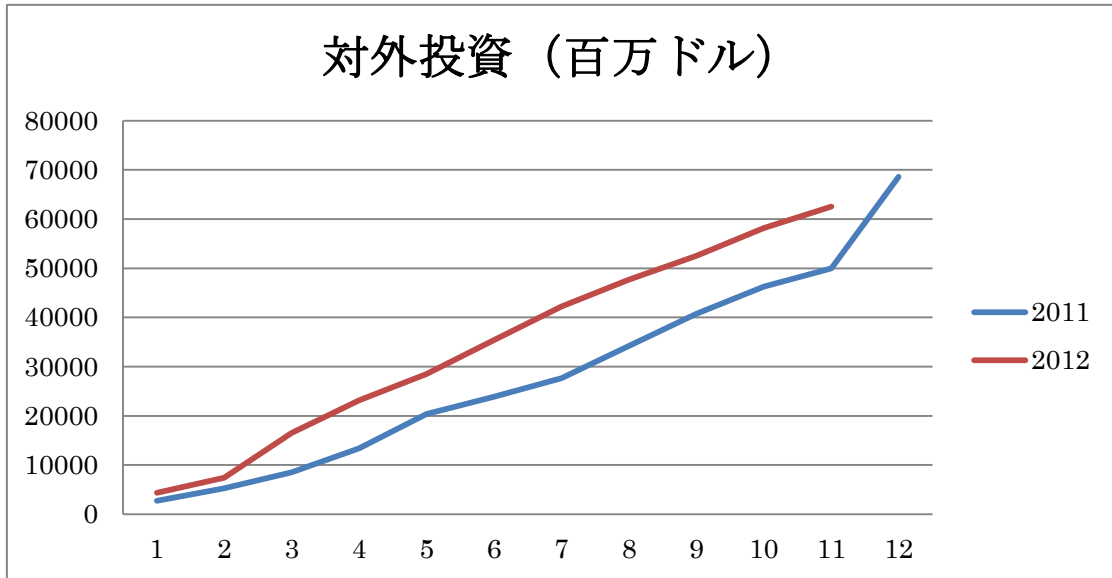


こうした中で、人民元は騰勢を強め、1月9日には1ドル=6.22元と昨年11月末以降1か月半ぶりに最高値を更新、対円でも1人民元=14.2元となっている。

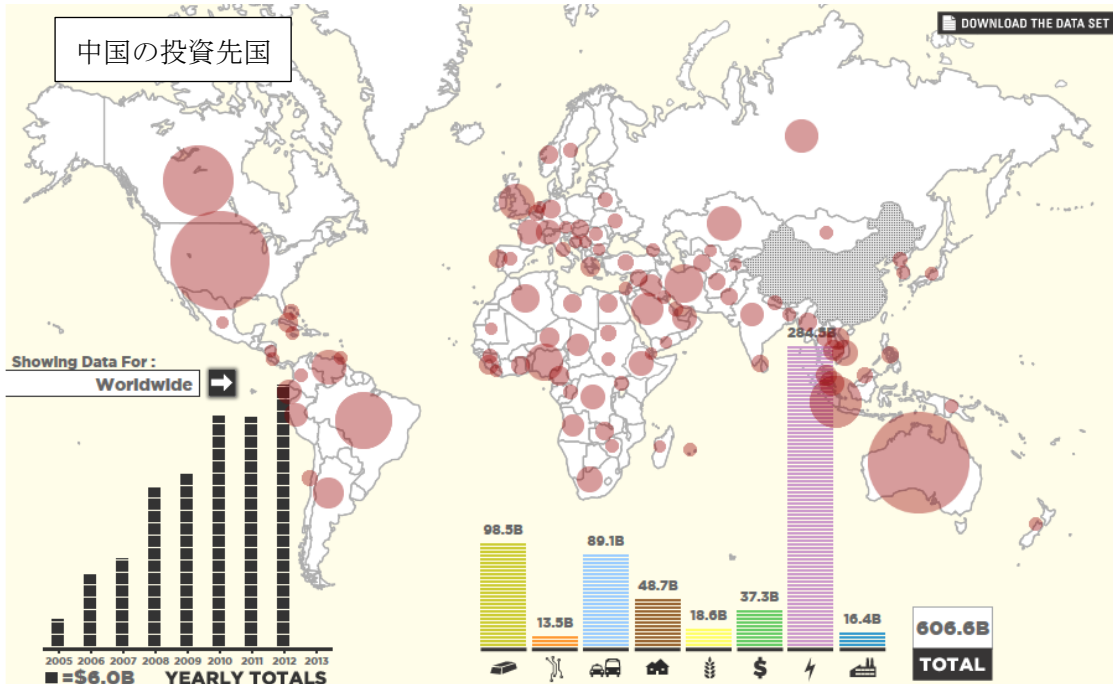
中国では、新政権発足の翌年は経済成長率が高めとなる傾向 (anomaly) が観察されることから、少なくとも2013年の経済成長率は2012年を上回り、実質8%程度となると見てよさそうだ。

◎中国の対外投資増加傾向続く

12月18日、商務部が発表した1-11月の中国企業対外投資累計額（非金融投資）は625億ドルと前年比25%の大幅増となった。通年では700億ドルを超え、過去最高を更新することが見込まれる。一方、対内直接投資は1-11月累計で1,000億ドルと、昨年同期（1,038億ドル）を下回っている。



なお、投資先地域としては北米、豪州、欧州等が増えており、5日付け日本経済新聞によれば2012年の中国による対米直接投資は44%増の65億ドルに達したという。



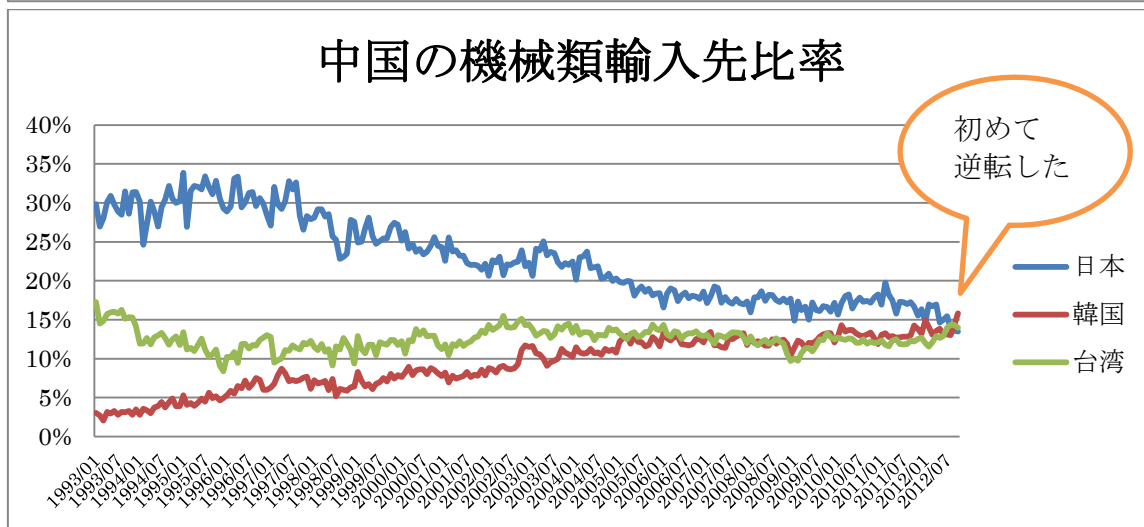
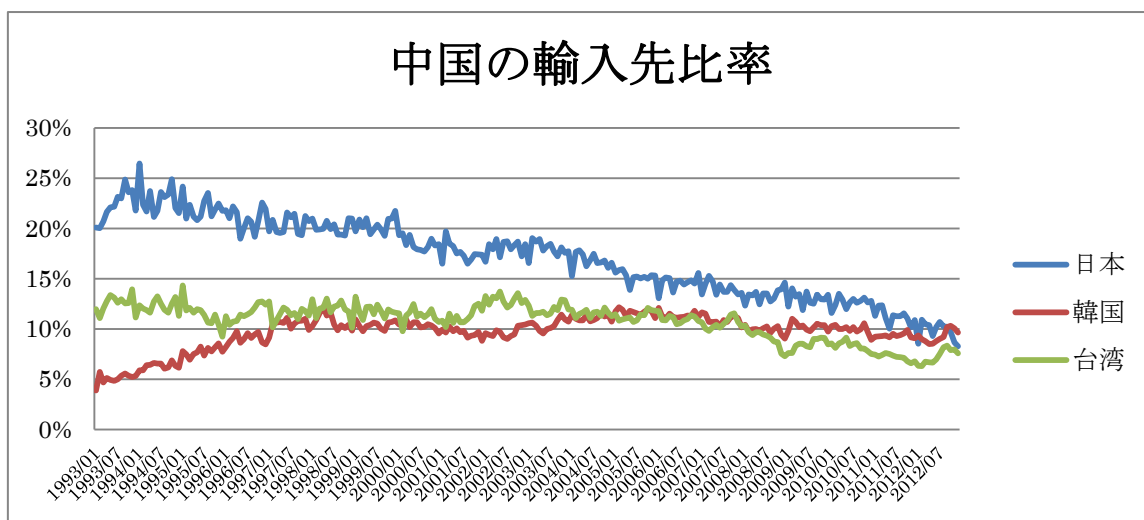
(China Investment Tracker Heritage Foundation)

◎12月の輸出は14.1%の大幅増に

海関総署が10日発表した12月の貿易動向によれば、12月の輸出は1,992億ドルと対前年比14.1%の大幅増となった。12月の輸入は6.0%増の1,676億ドル、2012年通年の貿易収支は2,311億ドルの黒字となっている。

2012年通年では、EU向けが▲6.2%と減少した一方、ASEAN向けが20.1%、アメリカ向けが8.4%の高い伸びとなった。この結果、中国の輸出先は、昨年トップだったEUに替わりアメリカが3,518億ドルとトップとなり、次いでEU(3,340億ドル)、ASEAN(2,043億ドル)、日本(1,516億ドル)の順となっている。(再輸出が多くを占める香港を除く。)

一方、輸入については、日本からの輸入が▲8.6%の大幅減となった一方、韓国からが3.7%増、台湾からが5.8%の増となり、総額で見ても、韓国からの輸入額(1,686億ドル)は日本からの輸入額(1,778億ドル)にほぼ相当する水準となった。機械類だけをみると既に日本からの輸入は韓国、台湾からの輸入より少なくなってしまう。現地生産もあるので単純には言えないにしても、中国が中間製品の輸入先として韓国、台湾との関係を強めつつあることは、最近の変化として特筆に値するだろう。



(参考)

## 中国の長生き村

中国にはいくつか長生き村と呼ばれる地域があるようだ。中でも広西チワン族自治区北西部にあるヤオ族自治州巴馬村は有名で、かつて NHK スペシャルでも取り上げられたことがある。1月上旬に訪問したが、長寿村をキーワードにした地域起こしと不動産開発が進んでいた。



↑ 巴馬村のある集落の光景。



あちこちに「うちには100才以上の人がある」とする看板が掲げられている。



↑ 清光緒時代生まれの黄さん



毎日こんな畑を上り下りしている。 老人に仕事があり、地域につながりがある。意外とこんなことが長生きの秘訣だったりするのではないかな。



巴馬村の売店に並ぶ各種きのこ類。



127才のおばあさんをキャラクターにした樂活水（ロハス水）。ペットボトル1本2元（30円）と格安だ。左にぶらさがるのはこの地域の名物で香猪というらしい。



なお、この村は確かに空気がよく水がよいので、都市部から巴馬村に長期滞在して養生しに来る人たちも多い。こうした人たちを目当てに不動産会社が豪華養生村の開発に着手する等、村の環境も変化しつつあるようだ。かつて沖縄県は日本でも長寿県として知られたが、生活スタイルの変化に伴い今では男性の平均寿命が全国 26 位に急落したというが、ここ巴馬村も環境が変化し開発が進むにつれて徐々に長寿県としての地位が低下していくことになるのではないだろうか。巴馬村を訪れるならここ数年のうちかもしれない。



↑ 不動産会社の開発で山肌を晒す地区。